

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 パルステック工業株式会社

コード番号 6894 URL <http://www.pulstec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 熊谷 正史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 杉本 英

TEL 053-522-5176

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	814	—	△148	—	△137	—	△123	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△8.98	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、連結対象となる子会社の重要性が乏しくなったため、当事業年度より連結財務諸表は作成していません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,013	2,547	63.5	185.86
21年3月期	4,422	2,670	60.4	194.74

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,547百万円 21年3月期 2,670百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△21.4	50	—	65	—	77	—	5.65

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	13,934,592株	21年3月期	13,934,592株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	225,707株	21年3月期	223,663株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	13,709,703株	21年3月期第2四半期	13,715,702株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因(経済情勢の急激な変化、関連業界の動向等)により異なる結果となる可能性がありますのでご注意ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、大規模な経済対策の実施により一部には明るい兆しが見え始めましたが、企業業績は底を脱した感はあるものの総じて厳しい局面で推移しており、個人所得の減少による消費の伸び悩みや厳しさを増す雇用情勢など、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましては、在庫処分による低価格販売や地上波デジタル放送への対応に加え、エコポイント効果等により一部の家電製品の需要は増加傾向となるなど、緩やかな回復基調で推移しております。

このような状況のなかで当社は、既存製品の拡販に加え、環境関連製品を含めた新製品の市場投入や特注製品の取り込み等により受注の確保に努めるとともに、さらなる諸経費の削減に注力するなど『当期は絶対黒字化』に向けての諸施策を展開いたしました。

受注高につきましては、新規設備の需要低迷により光ディスク関連機器・装置及びその他特殊機器・装置の主力製品はいずれも低調でありましたが、画像やデータ等の長期保存を目的とした『特殊記録用ドライブ』の新規受注により、21億5百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

売上高につきましては、前期末における受注残高が少なかったことに加え、当期間に受注した製品が第3四半期以降の売上計上となる案件が多かったことなどから、8億14百万円（前年同期比53.9%減）となりました。

損益面につきましては、人件費を含めた諸経費の削減を実施したことにより原価率は大幅に改善いたしました。売上高の減少による影響が大きく1億48百万円の営業損失（前年同期は1億59百万円の損失）、一時帰休の実施による助成金の給付などにより1億37百万円の経常損失（同1億57百万円の損失）、1億23百万円の四半期純損失（同1億86百万円の損失）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期累計期間末における総資産は40億13百万円となり、前事業年度末と比べて4億8百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が6億50百万円、仕掛品が1億28百万円増加し、現金及び預金が5億51百万円、受取手形及び売掛金が4億33百万円減少したことによるものであります。

負債は14億65百万円となり、前事業年度末と比べて2億86百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が1億9百万円、退職給付引当金が51百万円、支払手形及び買掛金が40百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は25億47百万円となり、前事業年度末と比べて1億22百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が3億94百万円増加し、資本剰余金が5億17百万円減少したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、18億92百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億14百万円となりました。

主な増加要因は、売上債権の減少4億33百万円であり、主な減少要因は、税引前四半期純損失の計上1億20百万円、たな卸資産の増加80百万円、退職給付引当金の減少51百万円、仕入債務の減少40百万円、ファクタリング債務の減少26百万円、貸倒引当金の減少26百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1億2百万円となりました。

主な増加要因は、保険積立金の解約による収入52百万円、差入保証金の回収による収入30百万円、投資有価証券の売却による収入24百万円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億10百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出1億9百万円であります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間末の受注残高は15億50百万円(期初の受注残高は2億60百万円)と大幅に回復いたしました。光ディスク評価装置、光ピックアップ調整装置、3Dスキャナ、ナノ加工装置などの主力製品は、新規設備投資の回復基調が緩やかであり、本格的な設備投資には今しばらく時間がかかることが想定されるため、通期の売上高につきましては前回予想を下回る見通しであります。

損益面につきましては、基本給の減額を含む人件費の削減、材料費及び外注費の見直し、その他諸経費のさらなる削減等により、原価率が大幅に改善しておりますので、前回予想を上回る見通しであります。

以上の理由により、平成21年5月15日付「平成21年3月期 決算短信」において発表した平成22年3月期の業績予想を修正いたします。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期累計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(固定資産の減価償却の算定方法)

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

#### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、4期連続して当期純損失を計上しております。『当期は絶対黒字化』を実現するために、受注の確保、原価率の改善、諸経費の削減などの諸施策を実施しております。当第2四半期末の受注残高も増加しておりますので、引き続き早期の業績回復と経営体質の改善に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

## 5. 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	392,150	943,983
受取手形及び売掛金	485,429	919,416
有価証券	1,500,000	850,000
商品及び製品	600	4,731
仕掛品	394,718	266,390
原材料及び貯蔵品	75,434	119,294
その他	48,718	76,105
貸倒引当金	△5,388	△10,809
流動資産合計	2,891,662	3,169,113
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	444,109	455,470
その他(純額)	365,410	374,320
有形固定資産合計	809,519	829,790
無形固定資産		
投資その他の資産	207	207
投資有価証券	95,110	114,824
その他	217,674	330,141
貸倒引当金	△533	△21,718
投資その他の資産合計	312,250	423,246
固定資産合計	1,121,977	1,253,244
資産合計	4,013,640	4,422,358
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,539	80,573
1年内返済予定の長期借入金	219,996	219,996
未払法人税等	5,282	4,259
その他	295,260	368,988
流動負債合計	561,077	673,817
固定負債		
長期借入金	273,350	383,348
退職給付引当金	600,010	651,301
役員退職慰労引当金	13,942	13,942
その他	17,286	29,911
固定負債合計	904,589	1,078,503
負債合計	1,465,667	1,752,320

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	1,342,533	1,859,930
利益剰余金	△123,057	△517,397
自己株式	△162,258	△162,132
株主資本合計	2,548,592	2,671,776
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△620	△1,738
評価・換算差額等合計	△620	△1,738
純資産合計	2,547,972	2,670,037
負債純資産合計	4,013,640	4,422,358

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	814,945
売上原価	614,624
売上総利益	200,320
販売費及び一般管理費	348,415
営業損失(△)	△148,094
営業外収益	
受取利息	973
受取配当金	202
助成金収入	35,792
その他	1,545
営業外収益合計	38,514
営業外費用	
支払利息	4,716
為替差損	16,582
減価償却費	1,465
投資事業組合運用損	5,542
営業外費用合計	28,306
経常損失(△)	△137,886
特別利益	
投資有価証券売却益	12,654
貸倒引当金戻入額	5,440
特別利益合計	18,095
特別損失	
固定資産除却損	133
保険解約損	149
特別損失合計	283
税引前四半期純損失(△)	△120,074
法人税、住民税及び事業税	2,982
法人税等合計	2,982
四半期純損失(△)	△123,057

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△120,074
減価償却費	31,422
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,605
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△51,291
受取利息及び受取配当金	△1,175
支払利息	4,716
為替差損益(△は益)	8,621
投資事業組合運用損益(△は益)	5,542
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,654
有形固定資産除却損	133
保険解約損益(△は益)	149
売上債権の増減額(△は増加)	433,987
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,336
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,033
ファクタリング債務の増減額(△は減少)	△26,878
未払又は未収消費税等の増減額	22,962
その他	△26,763
小計	121,722
利息及び配当金の受取額	1,185
利息の支払額	△4,873
法人税等の支払額	△4,616
法人税等の還付額	815
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,233
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△7,169
投資有価証券の売却による収入	24,900
貸付金の回収による収入	2,410
差入保証金の回収による収入	30,000
保険積立金の解約による収入	52,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	102,683
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△109,998
自己株式の取得による支出	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	98,167
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,892,150



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前第2四半期連結貸借対照表

	前第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	732,373
受取手形及び売掛金	1,225,090
有価証券	1,050,000
製品	25,468
原材料	142,511
仕掛品	527,205
その他	31,230
貸倒引当金	△2,456
流動資産合計	3,731,422
固定資産	
有形固定資産	860,717
無形固定資産	615
投資その他の資産	
投資有価証券	124,938
その他	358,982
貸倒引当金	△21,733
投資その他の資産合計	462,187
固定資産合計	1,323,521
資産合計	5,054,943
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	172,934
1年内返済予定の長期借入金	219,996
未払法人税等	5,188
その他	419,069
流動負債合計	817,187
固定負債	
長期借入金	493,346
退職給付引当金	684,915
役員退職慰労引当金	13,942
その他	33,666
固定負債合計	1,225,870
負債合計	2,043,057
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,491,375
資本剰余金	1,859,930
利益剰余金	△186,904
自己株式	△161,988
株主資本合計	3,002,413
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	679
為替換算調整勘定	8,793
評価・換算差額等合計	9,472
純資産合計	3,011,886
負債純資産合計	5,054,943

## (2) (要約) 前第2四半期連結損益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
売上高	1,799,246
売上原価	1,427,579
売上総利益	371,667
販売費及び一般管理費	546,412
営業損失(△)	△174,745
営業外収益	
受取利息	1,980
受取配当金	306
その他	3,931
営業外収益合計	6,218
営業外費用	
支払利息	7,648
為替差損	2,146
投資事業組合運用損	6,205
営業外費用合計	15,999
経常損失(△)	△184,526
特別利益	
貸倒引当金戻入額	300
その他	152
特別利益合計	453
特別損失	
固定資産除却損	1,630
投資有価証券評価損	28,377
その他	2,721
特別損失合計	32,729
税金等調整前四半期純損失(△)	△216,802
法人税、住民税及び事業税	1,944
法人税等合計	1,944
四半期純損失(△)	△218,747

## (3) (要約) 前第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△216,802
減価償却費	37,373
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,414
賞与引当金の増減額(△は減少)	△117,021
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,057
受取利息及び受取配当金	△2,286
支払利息	7,648
為替差損益(△は益)	242
投資事業組合運用損益(△は益)	6,205
有形固定資産除却損	1,630
投資有価証券評価損益(△は益)	28,377
売上債権の増減額(△は増加)	1,021,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	277,478
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,173
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,717
その他	△311,934
小計	642,655
利息及び配当金の受取額	2,294
利息の支払額	△8,078
法人税等の支払額	△4,019
法人税等の還付額	721
営業活動によるキャッシュ・フロー	633,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△9,655
定期預金の払戻による収入	23,172
有形固定資産の取得による支出	△15,637
投資有価証券の売却による収入	600
貸付金の回収による収入	1,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△109,998
自己株式の取得による支出	△404
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	521,122
現金及び現金同等物の期首残高	1,261,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,782,373

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を示すと、次のとおりであります。

生産高 (千円)	前年同期比 (%)
973,469	69.5

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を示すと、次のとおりであります。

受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
2,105,065	124.9	1,550,582	202.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を示すと、次のとおりであります。

販売高 (千円)	前年同期比 (%)
814,945	46.1

(注)1 当第2四半期累計期間の主要な輸出先、輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。  
なお、( )内の総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)
北米	169,836	54.6
アジア	117,243	37.7
ヨーロッパ	23,770	7.7
計	310,850 (38.1%)	100.0

2 当第2四半期累計期間の主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)
Millenniata, Inc.	155,573	19.1

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。